

## <熊本支部例会事前抄録>

日時：2018年11月27日（火）19:30～

会場：添島歯科クリニック研修室

一般講演抄録 2 -

臨在歯の大きな根尖病変による骨欠損に対し歯槽骨の維持に苦慮した

前歯インプラントの一症例

佐藤俊一郎 佐藤歯科クリニック

〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地212-1

略 歴 1989年3月 長崎大学歯学部卒業

1992年6月 佐藤歯科クリニック開院

所属団体 日本臨床歯科医学会 熊本支部 広島支部

日本口腔インプラント学会

日本臨床歯周病学会一般臨床医矯正研究会

国際外傷歯学会 熊本自家歯牙移植研究会

抄 録

前歯を抜歯した場合、歯根膜が存在しないため束状骨は維持できなくなり吸収してしまうことが知られており、前歯にインプラントを埋入する場合は埋入位置や深度、傾斜に注意する必要があるが、GBRなどの追加処置が不可欠なケースも少なくない。単独欠損であれば臨在歯の歯根膜により骨の維持や歯間乳頭も温存しやすいが、連続欠損の場合は骨が平坦化しCTGやFGG、補綴形態を工夫しないと歯冠乳頭を上手く形成できない場合が多くなる。

今回、左上1番が欠損した64歳女性で、左上2番の根尖病変による骨欠損が1番まで大きく進行するため連続欠損となりそうな難症例に対し、保存的治療で経過観察している症例を発表する。多くの先生方からご意見・ご指導いただければ幸いです。尚、演題発表に関連して開示すべき利益相反はありません。